

CASSIOPEIA—UHC達成に向けて、対象の5つの病院における、5つ星に輝く質の高い医療ケアサービスを目指して

JICA ルサカ郡総合病院運営管理能力強化プロジェクト



カシオペアプロジェクトのニャンガ専門家とルサカ州保健局 (LPHO) のアニーさんは、5つの総合病院で水衛生や医療廃棄物に関する感染予防と管理のデータ検証しました

インタビュー
チャワマ病院 臨床工学技士
ダリウス氏

感染予防管理を通じて、
医療環境を
清潔で安全に保つ

フォトフォーカス
カシオペアプロジェクトチーム、カニャマ病院で、Infection Control Teamに対する手術部位感染 (SSI) サーベイランスに関するプレゼンテーションを実施



インタビュー

チャワマ病院 臨床工学技士 ダリウス氏

医療機器は、保健システムの重要な構成要素であり、適切な管理・活用を行うことで、効率的な医療サービスを提供することができます。



チャワマ総合病院でインタビューを受けるダリウス氏

質の高い医療を効率よく提供するために、病院や診療所では、質の高い機器を導入し、適切に維持管理し、より長く使用することが重要です。

今回、チャワマ病院の臨床工学技士であるダリウス氏とのインタビューを行いました。医療機器の効率的な運用のため、チャワマ病院では臨床工学部門が設置され、医療機器の設置、修理、メンテナンスを行っています。

臨床工学技師は業務を具体化するために、年間を通じた計画的予防保守管理を実施しています。そして、ある機器の操作方法をユーザーに教えるユーザートレーニングや、機械が故障したときに行う修理メンテナンスも行っています。

また、この部署は、病院経営幹部と、登録された医療機器の修理を担当することになるエンジニアをつなぐ役割を担っています。病院経営幹部に報告するために、エンジニアは臨床工学部門に報告し、バイオメディカル部門は経営陣に報告します。臨床工学部門は、病院が使用するのに不適切な状態にある医療機器の廃棄を勧告することもあります。

臨床工学部門が直面していた課題は、医療機材を持続して稼働させるために必要なスペアパーツや消耗品を調達するための資金が不足していることであると述べました。しかし、カシオペアプロジェクトが開始され、病院運営管理を強化プロジェクトが始動したことで、この問題は解決されました。一部の予算認められるようになったのです。

チャワマ総合病院の臨床工学部門責任者であるダリウス氏は、このプロジェクトがもたらした変化のいくつかを指摘しました。彼は、プロジェクトが医療

機材管理委員会を導入することによって、臨床工学部門に貢献した役割は大きかったと述べました。委員会は、医療機器に関するすべての業務、在庫管理、在庫分析、在庫更新、機器開発計画の策定、消耗品およびスペアパーツリストの策定、修理不可能な機器や旧式の機器の廃棄、計画的予防保守、機器の検査と受入を担当しています。病院経営幹部は、病院の各部門が代表する医療機材管理委員会を通じて、この部門を監視しています。

また、カシオペアプロジェクトにより、部門が実施する活動のが見える化され、文書化が整えられました。部門の活動報告は毎週、州保健局と共有されるようになりました。これにより、報告書の作成がより効果的になりました。さらに、チャワマ総合病院の臨床工学技士と他の病院の臨床工学部門の交流が始まり、他の病院ではどのように仕事を進めているのか、アイデアや経験を共有することで、連携や交流が深まりました。また、このプロジェクトによって、新しい機器や道具が購入されたことも紹介されました。このプロジェクトは、質の高いヘルスケアを実現するための臨床工学部門の重要性を強調しています。さらに、臨床工学部門が更新する在庫管理リストは、どの機械が動いていて、どの機械が修理が必要なのかを示すのに役立つと言います。修理件数を減らすためには、日々のメンテナンスきちんと行い、ユーザーに正しく使用してもらうユーザートレーニングが非常に重要であると述べました。

ダリウス氏は、今後、X線装置のような高度な機器と修理方法についての再教育を受けたいと希望しました。

最後に、総合病院をサポートしてくれている塩田専門家と法月チーフアドバイザーとカシオペアチーム全員に感謝の言葉を述べました。



酸素濃縮器を修理するダリウス氏と臨床工学部門のチーム

KEY NOTE:

医療ケアに使用される機器は、目的に適合したものでなければなりません。

そのため、医療機器を購入した際の記録や、メーカー保証、品質チェック、メンテナンスや整備に関する文書などを保管しておくことが望ましいとされています。

なぜなら、高品質の医療機器は、強力で一貫したワークフローを実現し、質の高い医療を提供するからです。

感染予防管理を通じて、医療環境を清潔で安全に保つ



EHTのIPCチームと水衛生の基本インフラである水道を点検をする法月チーフアドバイザーとニャンガ専門家(カニヤマ病院)

環境の清掃、廃棄物、リネンの管理はすべて、標準的で感染経路に基づく感染予防管理(IPC)活動の一環です。

効果的な感染予防管理を達成するために、患者、医療従事者を含む全ての人々にとって安全な環境を維持することが重要です。感染予防管理(IPC)は、患者や医療従事者の安全、質の向上、そして医療におけるアウトカムの改善にとって不可欠な要素です。したがって、衛生状態の改善、医療廃棄物管理の改善、医療施設における个人防护具(PPE)の入手と適切な使用など、IPCの風土とインフラを備えた強力な医療システムは、感染症のアウトブレイクを管理するのに役立ちます。

そのため、感染症がどのように広がり、どのような要因で感染が拡大するのかを理解することは、強力な予防アプローチを構築する上で重要なことです。

感染の連鎖を断ち切るために、石鹸と水、またはアルコール手指消毒剤を使った手洗いを含む手指衛生を行うことは、医療サービス内での病原体の感染を適切なタイミングと段階で防ぐ最も有効な手段の一つであり、これにより微生物の数が減り、他の人に移る可能性が低下させることができます。そのため手指衛生を適切に行うためのインフラとして、医療施設内に手洗い器を設置し、手洗い石鹸や手指消毒剤を置くことが重要です。

手指衛生ステーションは、ケアポイントにできるだけ近い場所に設置する必要があります。

患者や訪問者に手洗いを促すポスターや、手指衛生の手順を図示したポスターを施設内に設置し、全ての人々がポスターを見て正しく手指衛生が行える環境を整備する必要があります。

医療施設では、患者さんや医療従事者、汚染された器具、リネン、廃棄物などからの感染リスクを最小化するために、標準予防策を常に適切に実施するた

めに、標準作業手順書を整備することが求められます。

医療環境を清潔で安全に保つために

- 1 病院の清潔さと患者安全を確認するために、病院の医療環境を毎日巡回すること
- 2 医療廃棄物のゴミ箱が正しくラベル付けされ、廃棄物を容易に処理できるように色分けされていることを確認
- 3 病院内で汚れや物を扱った後や患者さんに触れる前後には、必ず手洗いをすることを忘れないこと
- 4 病院内の環境やケアに関する問題は、できるだけ早く報告し、解決できるようにすること
- 5 薬や注射など清潔な作業を扱う前後には必ず手を清潔にすること



編集・デザイン: エレン ムティナ チピリピリ
編集長: 法月正太郎

連絡先
法月正太郎 ルサカ郡病院運営管理能力強化
プロジェクト チーフアドバイザー

住所: Plot No.11743A, Brenwood Lane,
Longacres. P.o. Box 30027, Lusaka, 10101,
ZAMBIA

E-mail: cassiopeia.project.zm@gmail.com
Website: <https://www.jica.go.jp/project/>

フォトフォーカス: カシオペアプロジェクトチーム、カニヤマ病院で、Infection Control Team に対する手術部位感染 (SSI) サーベイランスに関するプレゼンテーションを実施